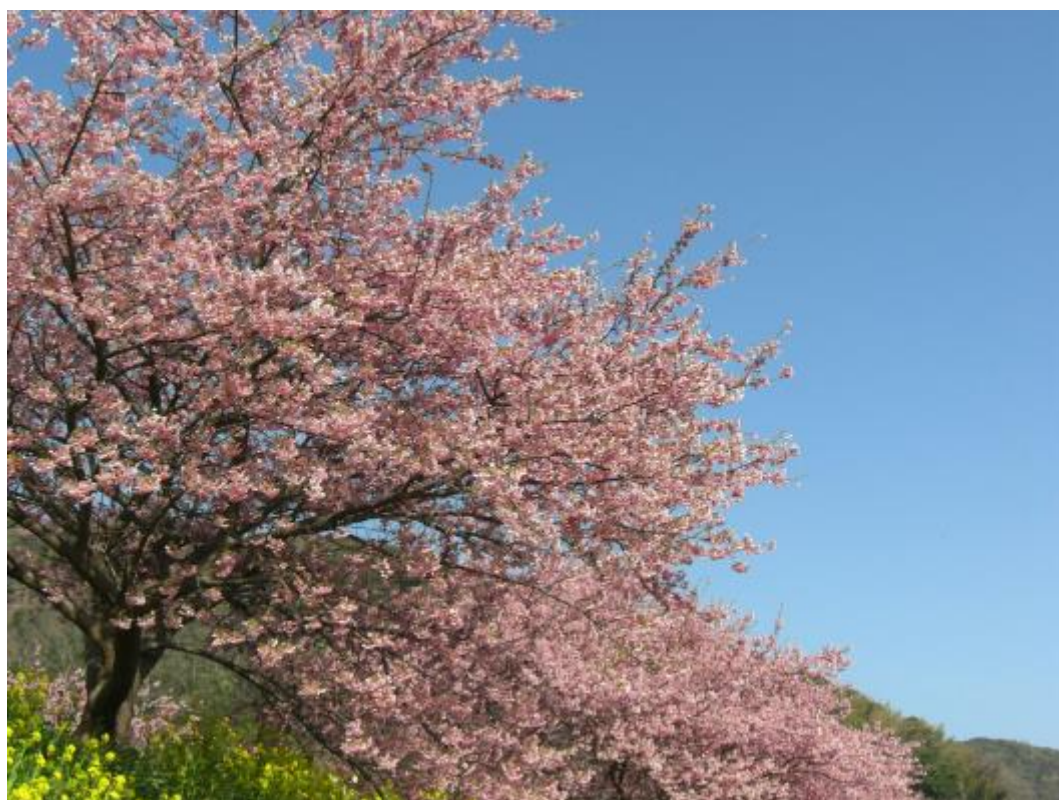


**平成30年度入省予定  
環境省総合職理工系  
内定者の声**



## はじめに

本冊子は環境省総合職理工系内定者（H30 年 4 月入省予定）が自主的に製作したものです。幅広い人材を求める環境省を皆様に知っていただくことや、環境省に興味を持っていただくこと、国家公務員を志す受験者に参考にしていただくことを目的に製作する運びとなりました。ここに示した内定者の経験が、皆様の進路選択の一助となれば幸いです。

平成 29 年 12 月

環境省総合職理工系内定者 一同

## 《本冊子の構成》

### 第一部 内定者プロフィール

基本データ

（学科/専攻、学歴・性別・年齢、試験区分、国家公務員試験合格年度など）

自己紹介

志望動機

環境省を志望される方へのメッセージ など

### 第二部 内定者の国家公務員採用総合職試験 体験記

勉強量について

勉強内容・試験内容について

### 第三部 内定者の官庁訪問 体験記

※ 環境省 Web サイトでも公開しております。

## 《付記》

本冊子の内容に関する責任は、全て製作者である内定者にあります。また、各人の考え方、勉強法などはあくまで個人的な見解です。ご理解の上、ご覧ください。また、次年度以降の採用試験では、試験日時や英語試験の活用など、H29 年度試験と一部違いが見られる場合もございますのでご注意ください。詳しくは、人事院 Web サイト（<http://www.jinji.go.jp/>）でご確認ください。

以上のことを十分にご理解の上、ご活用くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

## 第一部 H30 年度 総合職理工系内定者のプロフィール

H30 年度に入省する予定の総合職理工系内定者は、全 6 名となりました！  
今年度は修士新卒が少ない一方、様々な経歴を持つ人が集まりました。

第一部では、内定者のプロフィールや志望動機、そして本冊子を読んでもらっている皆様に向けたメッセージを記載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに PN（ペンネーム）を記載しております。

環境省では人物多様性を重視しているためか、皆とても個性豊かです。本章を読んで、どんな人が入っているのか参考になれば幸いです。また、「もっと環境省内定者を知りたい！」ということがあれば、他の年度や一般職の内定者の声を見ることをお勧めします（どちらも環境省 Web サイトで確認可能です）。

### H30 年度 総合職理工系内定者の内訳

#### 《性別》

女性 2名	男性 4名
-------	-------

#### 《学歴》

学部新卒 2名	学部既卒 1名	修士新卒 1名	修士既卒 1名	博士新卒 1名
------------	------------	------------	------------	------------

#### 《官庁訪問時の初回訪問日》

春季1日目 1名	1日目 4名	2日目 1名
-------------	--------	--------

#### 《併願省庁》

経済産業省 1名	文部科学省 1名	特許庁 1名	国土交通省 1名	併願なし 3名
-------------	-------------	-----------	-------------	------------

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN : DK

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	宮城県・工学研究科
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士既卒・男・28 歳
<b>【試験区分】</b>	工学（院卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 29 年度
<b>【試験席次】</b>	下
<b>【英語加点の有無】</b>	無
<b>【説明会参加回数】</b>	1 回
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省のみ

【就活のスケジュール】	
時期	内容
2016 年 4 月	大学院博士課程後期へ進学。
2016 年下半年期	研究活動をしながら、進路について考える。
2017 年 1 月	環境省の説明会に参加。
2017 年 3 月	国家公務員試験受験のための勉強を開始。
2017 年 7 月	各種試験を終え、環境省より内々定をいただく。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

### 【私はこんな人です】

- 自然豊かな富山県で育ちました。
- 幼稚園（球蹴り）から高校までサッカーを続けましたが、腰を痛めて、大学ではサッカーを続けるのを断念しました。
- 大学進学を機に、宮城県へ北上しました。
- 大学生になり怪我と一人暮らしがきっかけで、サッカー以外の趣味が広がっていききました。
- 学部3年生から始めた研究では、放射性廃棄物の処分に係る研究を行いました。
- 学会発表を含む研究活動等で、何度か海外へ行きました。（アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ）。日本食って素晴らしいですね。

### 【趣味・特技】

趣味の一つは運動です。これまで、幾つかのスポーツを嗜んできました。上にも書いたように、サッカーは長い間続けたスポーツなので、特に思い入れが強いです。時間を見つけて、体を動かす機会を増やせられたらいいなと思っています。

特技はこれといってないので、これから何かしら身につけられればいいなと思っています。どんな特技でもいいので、持っていれば役に立つ場面はたくさんあるように思います。

### 【志望動機】

環境を守ることが人々の生活を豊かにするという思いを持ち、その仕事の実現可能な環境省を志望しました。人々の暮らしを豊かにするための道具として科学技術が発展してきましたが、その技術による恩恵をより多くの方々に享受してもらったとしても、弊害として自然環境に悪影響を与えては本末転倒であると思います。環境問題に関する言葉の中で（1）地球温暖化、（2）3R（Reduce, Reuse, Recycle）（3）水俣病、イタイタイ病、四日市ぜんそく等、これらの言葉を知り、漠然と興味を持ち始めたのは小学生の社会の授業がきっかけであったと思います。大学入学を機に環境問題を含め様々な事柄を学び、以下について重点的に勉強を行いました。

#### エネルギー

興味を持ったきっかけは、大学1年生のとある講義を受けた時です。その講義において、電気（エネルギー）がどのように作られ、供給されているのかについて初めて学びました。再生可能エネルギーを始めとする様々なエネルギーがある中で、当時の私は原子力について専門的に勉強することに決めました。原子力を軸として学んでいく中で、資源の少ない日本におけるエネルギーの在り方、エネルギーミックスという考え方について学び、エネルギーを取り巻く多様な問題について関心を持つきっかけとなりました。

#### 放射性廃棄物

この分野について勉強を始めたのは、学部3年生の研究室配属において現在の研究室に配属された時です。配属翌年の東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所における事故がきっかけとなり、放射性物質（放射性廃棄物）は多くの方の関心を引くこととなりました。そういった中で、詳しくない方々にどのように伝えていくのか、その難しさ、コミュニケーションの重要性を認識しました。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN：しろすけ

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	京都府・エネルギー科学研究科 エネルギー応用科学専攻
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	学部既卒・女性・23 歳
<b>【試験区分】</b>	工学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 28 年度
<b>【試験席次】</b>	中の下
<b>【英語加点の有無】</b>	有（15 点）
<b>【説明会参加回数】</b>	5 回
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省→経済産業省

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2016 年 5 月	一次試験受験
6 月	二次試験受験
8 月	官庁訪問はせずに院試受験
2017 年 4 月	院に進学するも中退して就職しようか悩む
5 月	OB 訪問等で心が決まる
6 月	環境省に内々定を頂く

DK

しろすけ

アプリコット

はちぞう

俺太郎

辛 党

**【私はこんな人です】**

- どんな人とでも仲良くお話をすることが好きです。相手が誰でも臆することなく、ちゃんと自分の意見を言えるように意識しています。
- 大切にしている言葉は「伝統より伝説」、「高くジャンプするには深く屈伸しなければならない」、「継続は力なり」です。

**【趣味・特技】**

- 海外ドラマを観ることが好きです。BS で放送されているものをよく観ています。
- ゲームをすることがストレス発散法です。最近はスマホゲームもやっています。

**【志望動機】**

自分が育った周囲の環境や、父の仕事の影響で小さい頃から「環境」は大切にすることで当然のように思っていました。しかし、大学に入り、様々な価値観の人たちと出会ったことで、環境に興味がない人たちも大勢いることに気づきました。そこで、環境を大切にしようと思っている私が、これからの地球環境を守らなければという気持ちが湧きました。大学で環境省の方のお話を聞く機会があり、私がやりたいことはこの仕事だな、と思い、環境省で働こう、と決めました。

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

説明会にはたくさん参加しておくと思います。やはり、現職で働いている方のお話を聞くと、自分がそこで働くイメージが湧きやすいですし、自分の知らなかったこともたくさん教えていただけます。

なぜ自分が環境に興味を持ったのか、よく考えて言葉にしてみてください。官庁訪問では、それをわかりやすく自分の言葉で伝えることが大切だと思いました。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN : アプリコット

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	北海道・工学部 環境社会工学科 衛生環境工学コース
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	学部新卒・女性・22 歳
<b>【試験区分】</b>	工学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 29 年度
<b>【試験席次】</b>	中の下
<b>【英語加点の有無】</b>	無
<b>【説明会参加回数】</b>	5 回くらい
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省→国土交通省

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2016 年 3 月	大学の公務員講座を受け始める。
2016 年 8 月	部活引退。夏休み以降から本格的に勉強を始める。
2016 年 11 月	環境省の説明会を聞き、第一志望に決める。
2017 年 4 月末	一次試験。
2017 年 5 月末	二次試験。筆記試験で失敗し、官庁訪問の準備が進まず…
2017 年 6 月末	最終合格。急いで官庁訪問の準備を始める。
2017 年 7 月	不安を抱えたまま官庁訪問。環境省から内々定をいただく。



DK

しろすけ

アプリコット

はちぞう

俺太郎

辛 党

**【私はこんな人です】**

- 京都出身で大学入学時に北海道に引っ越しました。関西弁が少しずつ薄れてきている気がして悲しいです…。
- 和菓子やパフェなど甘いものが好きです。旅行に行くとご当地限定のものを食べたくありません。時々自分でも作っています。
- ドラマを見るのが好きで、夜ご飯を食べながら見るのが息抜きです。
- PM2.5 による健康影響について研究しています。

**【趣味・特技】**

- 踊ることが好きです。中高ではバトントワリング、大学ではチアリーディングをしていました。
- 特技は書道です。大学時代は習いに行けていなかったのですが、社会人でまたやりたいと考えています。

**【志望動機】**

小学生の時に地球温暖化について学び、自分が大きくなったころには地球はどうなっているのだろうと考えたことが、環境問題に興味を持ったきっかけです。中高の時は漠然とした考えのままだったので、その後大学で水、大気、エネルギー、廃棄物など様々な環境に関する講義を受け、環境問題に関わる仕事をしたいと思うようになりました。その中でも私たちが生活していく中で必要不可欠なもので、人々に大きな影響を与える分野である水や大気に興味を持っています。

また、環境と一言で言っても幅が広いので、自分の知らない分野についてもこれからどんどん学んでいきたいと思っています。

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

私が就活を通して大切だと思ったことは自分から積極的に動くことです。試験や志望先の情報を集めることはもちろんですが、説明会での質問などをするのも大切だと思います。また、初めからやりたいことを絞り過ぎずに様々な説明会に行ってみることで、あまり興味を持っていなかったこともイメージが変わって自分の考えが深まることもあると思います。

そして官庁訪問中に成長できるというお話をよく聞いていたのですが、経験してみてもさにその通りだなと思いました。実際の業務について詳しく話していただき、フィードバックをしてもらえたことで志望動機がよりまとまっていったように思います。もちろん事前に準備をすることも大事なので、自己分析を行って自分が今まで何をやってきてこれから何をしたいのかを考えて、悔いのない就活になるよう頑張ってください。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN : はちぞう

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	東京都・工学系研究科 応用化学専攻
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	博士新卒・男・28 歳
<b>【試験区分】</b>	化学・生物・薬学 (院卒)
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 29 年度 (・平成 24 年度)
<b>【試験席次】</b>	上の下
<b>【英語加点の有無】</b>	有 (25 点)
<b>【説明会参加回数】</b>	9 回
<b>【併願した省庁 (第一クール訪問順)】</b>	文部科学省→環境省→特許庁

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2012 年 6 月	国家公務員総合職試験に合格する (修士 1 年時)。アカデミアでの研究にもっと打ち込み体得したい思いがあり、また、進学しても公務員に限らず就職の道も選びやすい専攻だったこともあり、官庁訪問やその他の就活をすることなく博士課程へ。
2012 年夏 ～2013 年 3 月	休学という形をとり中国 (北京) で研究中、深刻な大気汚染を体感する。
2016 年 12 月ごろ	研究に没頭していたが改めて進路を考えたときに、国家公務員が第一志望となる。再度試験を受ける必要があることに気付く。民間も面接の練習として胸を借りるつもりで、かつ併願先として、数社受けることとする。休日に開催される説明会に行き始める。
2017 年 2 月	平日の説明会にも少しずつ行き始める。
2017 年 4 月	一次試験の勉強・受験。民間の面接が実質始まる。
2017 年 5 月	二次試験の勉強・筆記試験受験。
2017 年 6 月	二次試験 (政策課題討議試験・人物試験) 受験。各省庁の志望順位に悩み、説明会で採用担当の方とも相談する。
2017 年 7 月	官庁訪問。訪問の中で、環境省が第一志望であることが自分の中ではっきりする。最終的には他省庁は辞退。環境省に内々定を頂く。

DK

しろすけ

アプリコット

はちぞう

俺太郎

辛 党

**【私はこんな人です】**

- 山口県で生まれ、神奈川(0~7歳)・兵庫(7~10歳)・大阪(10~18歳)で育ちました。
- 人工光合成、再生可能エネルギーの貯蔵を研究してきました。具体的には、水の電気分解により電力を水素として貯蔵するための、高効率な電極を開発してきました。
- 学部時代には、実験や読み物などを通じて科学の面白さを伝えるサークルを設立し、初代メンバーとして活動しました。今も後輩ががんばってくれています。

**【趣味・特技】**

- 中国語が趣味・特技です。中国の友人曰く、顔も中国人っぽいそうです。
- 旅が好きです。バックパッキングや、自転車での旅、青春18きっぷなど、お金が比較的にかからず、土地同士の繋がりを感じられ、好奇心が満たされる旅をしてきました。
- 長距離走が比較的得意です。東京・大阪マラソンに運よく当選。完走しました。

**【志望動機】**

中学生の頃、人生の意義を考える中で「人工光合成」という分野を知り感銘を受け、環境・エネルギー問題解決への貢献が人生のミッションとして自然に自分の中に納まりました。人工光合成とは、太陽光エネルギーで二酸化炭素や水から有機物や水素など有用な物質を作る技術のことです。化石燃料に依存しない社会に向けて実用化が期待されています。

その後希望通り進学し研究を始めました。しかし学界で視野が広がる中で、環境問題解決に資する技術は数多く、それらを総合的に考え研究・実装を進める必要性も感じ始めました。中国の大気汚染からは、技術の普及やそのための社会的制度の重要性も感じました。

一つ一つの研究はどれも人類の知や可能性を広げ、大切だと思います。しかし自分の研究が必ず直接的に社会課題解決に役立つかという点、必ずしもそうではありません。そうした中で、重要でいつか役立つと信じる特定の研究や技術によって、というよりも、あらゆる技術を視野に入れ、その普及や社会的制度も含め包括的かつ社会に直接的な形で環境問題解決に貢献したいのだと明確に思うようになり、国家公務員が第一志望となりました。

環境・エネルギーに関わる省庁はいくつかあり、その中での志望順位は大分迷いました。しかし自分の中ではまず「環境」、あるいは「人類の持続性」があり、そのための手段として他のものがあることに気づきました(それらもちろん、今でも大事だと思います)。また、素直に話した話を一番素直に受け止めてもらえ、説明会から一貫して熱意や風通しのよさ、チャレンジ精神を感じる中で、環境省が第一志望となりました。

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

環境問題、よりよい社会に少しでも関心がある人は、一度環境省の説明会に参加してみるとよいと思います。環境省にそこまで関心がない状態で参加した説明会で、具体的な業務や雰囲気よさに惹き込まれ、質問したいことも多く出てきたことを今でも覚えています。私にとっては知れば知るほど魅力的な省庁でした。また、就職活動は成長や自分の軸を見つけるチャンスです。ぜひいろんな人と話して、こういう時でないとももらえないような批判やアドバイスももらって、自分が一番生き生きと働けるような選択をしてください。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN：俺太郎

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	東京都・工学部
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	学部新卒・男・21歳
<b>【試験区分】</b>	工学（大卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成29年度
<b>【試験席次】</b>	上の方
<b>【英語加点の有無】</b>	有（25点）
<b>【説明会参加回数】</b>	5回くらい
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	環境省のみ

**【就活のスケジュール】**

時期	内容
2016. 6	就活？を始める
2017. 1	就活終わり
2017. 2	自分の直感を信じ環境省に行こうと決心する
2017. 4~	試験を受ける
2017. 6	試験に受かる
2017. 7	官庁訪問&内々定
2017. 10	内定

DK

しろすけ

アプリコット

はちぞう

俺太郎

辛 党

**【私はこんな人です】**

スーパー銭湯が大好きです。

埼玉県と荒川が大好きです。

夏と海が大好きです。

大学では4年間体育会ボート部でした。

語尾を延ばす癖があるらしいです。

**【趣味・特技】**

安室奈美恵、宇多田ヒカル、坂井泉水さんの歌が大好きです。

無心でジョギングすることで心の平穏を保っています。

**【志望動機】**

自分の夢を実現できる場所ならどこでもと思って就活をしていました。その中で私が最終的に環境省に行き着いた根幹的な理由は、小学生の頃、「不都合な真実」を読み感じた「このままだと地球って本格的にやばいんじゃないか？」という直感がどうしても頭の片隅から離れていなかったからだと思います。

**【環境省を志望される方へのメッセージ】**

就職活動において何に軸を置くかは人それぞれだと思います（お金であったりワークライフバランスであったり名誉であったり夢であったり…）。なので、もちろん他人の意見を聞くことは大事なのですが、最後は自分を信じて自分が納得できる決断を下せることがいいのかなと思います。

また部活やサークル等の課外活動が就活中も続いている方もいると思いますが、そういった時間は後からは決して取り返すことのできない貴重な時間だと思うので、就活を言い訳にせず全力で悔いが残らないところまでやり遂げてもらいたいなと思います。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

PN：辛党

基本データ	
<b>【大学所在地・学科/専攻】</b>	京都府・工学研究科 環境工学専攻
<b>【学歴・性別・年齢】</b>	修士新卒・男・24 歳
<b>【試験区分】</b>	工学（院卒）
<b>【国家公務員試験合格年度】</b>	平成 29 年度
<b>【試験席次】</b>	上の中くらい
<b>【英語加点の有無】</b>	有（15 点）
<b>【説明会参加回数】</b>	たくさん（説明会、インターンなどに参加）
<b>【併願した省庁（第一クール訪問順）】</b>	なし

【就活のスケジュール】		
時期		内容
学部 4 年生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・院試に必要なため取りあえず TOEIC を受ける。点数は微妙（英語はこのまま就活に臨みます）。</li> <li>・説明会に時々参加。環境省に興味を持つ。</li> </ul>
修士 1 年生	4 月	環境省の先輩から「国家公務員試験は 5 か月やれば十分！」と聞き、何故か試験に余裕綽々。
	10 月	環境省インターンに 2 週間ほど参加。環境省の具体的な業務や雰囲気を知る。環境省に心を固める。
	12 月 ~3 月	遂に試験 5 か月前になったので試験勉強（研究室には試験のため、いろいろ大目に見てもらった）。思いのほか出来なくて焦る。
修士 2 年生	4 月 ~6 月	周りの人が次々と就活が終了していく中、国家公務員試験を受験。他企業の説明会にも出て、環境省の志望度を自己確認。
	7 月	官庁訪問。ストレスに弱く、吐き気を催しながら面接。 ⇒内々定！

※インターンシップは大学を介して申し込みました。

DK	しろすけ	アプリコット	はちぞう	俺太郎	辛 党
----	------	--------	------	-----	-----

### 【私はこんな人です】

- 出身は東京です。大学だけ京都に来ました。
- 中学：美術部、高校：将棋部、大学：委員会・ボランティアサークル（環境系）、と基本的に体は動かさない系でした。運動音痴です(笑)
- 大学に入る前から環境問題に興味があり、大学での勉強も研究も環境問題についてやっていました。研究は廃棄物についてやっていました。
- 性格は真面目とよく言われますが、私生活はルーズです。朝はとても弱いです。
- 高校の時の延長で将棋が趣味です。強さは趣味レベルです。ちなみに、みんなでやる卓上競技（トランプ、ボードゲーム等）は好きです。ルールとか戦略とかの物覚えは比較的早い方だったので、初めてのゲームでも結構普通に遊べたりします。

### 【志望動機】

環境問題への興味は小さいころから漠然と持っており、大学の専門としての勉強で関心を深めました。また、サークル活動においても環境問題を取り扱っていたのですが、そこでのマネジメント経験を通して制度などのマクロな視点から環境問題に取り組むことも重要であるということを学びました。こういった経験が、大きいフィールドで環境問題に取り組んでいける環境省を志望するきっかけとなりました。国家公務員という仕事柄、特定の分野に縛られず色んな分野から環境問題に取り組めるという点も大きな魅力でした。

修士1年生の時に参加したインターンシップでは、環境省内の雰囲気を知りました。その時の、仕事場の環境問題解決や社会貢献へ向けて働いている職員の方の熱意に心を打たれ、絶対に環境省へ行こうと決意しました。

### 【環境省を志望される方へのメッセージ】

私自身は、大学期間中は環境一直線&就活も環境省一本道という流れになってしまいましたが、就活において軸を通すことが大正義なんてことは絶対ないと思っています。就活時期はいろいろ大変な時期ではありますが、会社が就活生のために説明会をしてくれるとても貴重な時期でもあります。せっかくの機会なので、余裕があれば就職先としてあまり考えていなかった業界にも顔を出してみると勉強になります（合同説明会とかお勧めです）。また、いろんな業界を見ながら、自分の今までを振り返っていくと、どうして環境分野なのか、どうして国家公務員なのか、というところが見えてくると思います。そこが言葉にできれば官庁訪問でも十分な熱意を見せることができるはずです！

この冊子を手にとってくれている時点で、環境省に興味を持っていただいているんじゃないかなあとと思いますが、もし説明会がまだということであれば、ぜひ足を運んでみてください。環境問題自体がまだまだ歴史的にも新しい社会問題ということもあり、どんどん新たなことに取り組んでいけるのが環境省だと思います。話を聞いてみて、環境問題や国家公務員という仕事について理解を深めていただければ幸いです。